

「医育機関に勤務・所属する医師の将来のキャリアプラン調査」

調 査 票

※この用紙は調査内容をご確認していただくものであり、この用紙での回答はできません。
ご回答は、ウェブサイトにてお願いいたします。

1. ご自身について

Q 1 年齢を教えてください。

 歳

Q 2 性別を教えてください。(お答えは1つ)

1. 男
2. 女
3. その他

Q 3 医学部卒業年を教えてください。

(1996年3月卒業の場合、西暦で「1996」と入力してください。)

Q 4 居住地の分類として、最も当てはまるものをひとつ選んでください。(お答えは1つ)

1. 首都圏(東京・千葉・埼玉・神奈川)の大都市圏
2. 首都圏以外の大都市圏(京阪神・名古屋・福岡その他政令指定都市)
3. 地方中核都市(政令指定都市以外の県庁所在地等)
4. 地方中小都市
5. 過疎地・へき地・離島

Q 5 配偶者・パートナーの状況について、教えてください。(お答えは1つ)

1. 配偶者・パートナーがいる(相手は医師)
2. 配偶者・パートナーがいる(相手は医師以外)
3. 配偶者・パートナーはいない

Q 6 子どもの有無について、教えてください。(お答えは1つ)

1. 未就学の子どもがいる
 2. 子どもはいるが、未就学の子どもはいない
 3. 子どもはいない
-

Q 7 主な診療科・専門領域を教えてください。(お答えは1つ)

(複数該当する場合は、最も従事時間が長いものをお答えください。)

1. 内科 (含む、循環器内科等、●●内科)
2. 外科 (含む、消化器外科等、●●外科)
3. 小児科
4. 産婦人科
5. 精神科
6. 皮膚科
7. 眼科
8. 耳鼻咽喉科
9. 泌尿器科
10. 整形外科
11. 脳神経外科
12. 形成外科
13. 救急科
14. 麻酔科
15. 放射線科
16. リハビリテーション科
17. 病理
18. 臨床検査
19. 総合診療
20. 現在、臨床研修中でまだ決めていない
21. その他 (具体的に：)

Q 8 大学医局への勤務・所属状況について、教えてください。(お答えは1つ)

1. 大学医局に勤務・所属している
2. 大学医局に勤務・所属していたが、現在は退局している
3. 大学医局に勤務・所属したことはない
4. その他(具体的に:)

(Q7で「20」かつQ8で「3」を回答した場合)

Q 8 S Q 今後、大学医局に勤務・所属する予定はありますか。(お答えは1つ)

1. 予定あり
2. 予定なし

2. 将来のキャリアプランについて

Q 9 現在、医師として目指していることについて、教えてください。(お答えはいくつでも)

1. 最新の医学知識と技術の取得
2. 学位取得
3. 研究論文執筆、学会発表
4. 専門医資格の取得
5. 指導医認定の取得
6. 産業医資格の取得
7. 医療制度、医療政策、診療報酬の知識取得
8. その他(具体的に:)

Q10 以下のうち、将来の医師としてのキャリアの選択肢となりうるものをすべて選んでください。(お答えはいくつでも)

1. 勤務医 (大学病院)
2. 勤務医 (大学医局の関連病院)
3. 勤務医 (上記以外)
4. 開業医 (新規開業)
5. 開業医 (親族の後を継ぐ)
6. 開業医 (親族以外の第三者から引き継ぐ)
7. 研究者・教員
8. 産業医
9. 医系技官
10. 保健所長
11. その他 (具体的に：)

(Q10で「1」「2」「3」のどれかを回答した場合)

Q10SQ1 将来、勤務医として働くにあたって、想定されている勤務形態を教えてください。(お答えは1つ)

1. 常勤 (職場で定めた医師の所定勤務時間のすべてを勤務)
2. 非常勤 週20時間以上 (「常勤」以外、スポット勤務を除く)
3. 非常勤 週20時間未満 (「常勤」以外、スポット勤務を除く)
4. スポット勤務 (不定期で特定の日時に限定して勤務。例：手術時の麻酔科医や予防接種の担当医等)
5. わからない

(Q10で「4」「5」「6」のどれかを回答した場合)

Q10SQ5 仮に開業するとして、開業(承継での開業を含む)を検討してもよいと考える場所を教えてください。(お答えはいくつでも)

1. 現在の居住地
2. 上記以外
 - (ア)首都圏(東京・千葉・埼玉・神奈川)の大都市圏
 - (イ)首都圏以外の大都市圏(京阪神・名古屋・福岡その他政令指定都市)
 - (ウ)地方中核都市(政令指定都市以外の県庁所在地等)
 - (エ)地方中小都市
 - (オ)過疎地・へき地・離島
3. 海外
4. 場所未定

(Q10で「4」「5」「6」のどれかを回答した場合)

Q10SQ6 仮に開業するとして、開業(承継での開業を含む)する際に、あったらよいと思う行政や医師会からのサポートがあれば、ご入力ください。(自由回答)

Q11 将来、一時的にでも勤務してもよいと思う場所について、あてはまるものをすべて選択してください。(お答えはいくつでも)

1. 首都圏(東京・千葉・埼玉・神奈川)の大都市圏
2. 首都圏以外の大都市圏(京阪神・名古屋・福岡その他政令指定都市)
3. 地方中核都市(政令指定都市以外の県庁所在地等)
4. 地方中小都市
5. 過疎地・へき地・離島
6. 海外
7. わからない・特になし

3. 主たる勤務先（月の労働時間の最も長い勤務先）の情報、労働条件、職場環境について

Q12 主たる勤務先での勤務形態を教えてください。（お答えは1つ）

1. 常勤（職場で定めた医師の所定勤務時間のすべてを勤務）
2. 非常勤（「常勤」以外、スポット勤務を除く）
3. スポット勤務（不定期で特定の日時に限定して勤務。例：手術時の麻酔科医や予防接種の担当医等）

(Q12で「2」または「3」を回答した場合)

Q12SQ 現在、常勤で働いていない理由について、当てはまるものをすべて選んでください。（お答えはいくつでも）

1. 収入等の経済的理由
2. 研究や勉強
3. 出産・育児
4. 介護
5. ご自身の病気
6. その他（具体的に： _____）

Q13 主たる勤務先の病床規模を教えてください。（お答えは1つ）

1. 病院 500床以上
2. 病院 200～499床
3. 病院 20～199床
4. 診療所
5. その他（具体的に： _____）

(Q13で「1」または「2」または「3」または「4」を回答した場合)

Q13SQ1 主たる勤務先の開設主体の種別を教えてください。(お答えは1つ)

1. 国
2. 公的医療機関
3. 社会保険関係団体
4. 医療法人
5. その他の法人
6. 個人
7. わからない

国	厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関) <small>※ 独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、独立行政法人地域医療機能推進機構は、各々の法律により医療法の適用については国とみなされている。</small>
公的医療機関	都道府県、市町村、地方独立行政法人、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会
社会保険関係団体	健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合
医療法人	医療法人
個人	個人
その他	公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人

(Q13で「1」または「2」または「3」または「4」を回答した場合)

Q13SQ2 主たる勤務先の所在地の分類として、最も当てはまるものをひとつ選んでください。(お答えは1つ)

1. 首都圏(東京・千葉・埼玉・神奈川)の大都市圏
2. 首都圏以外の大都市圏(京阪神・名古屋・福岡その他政令指定都市)
3. 地方中核都市(政令指定都市以外の県庁所在地等)
4. 地方中小都市
5. 過疎地・へき地・離島

Q 1 4 主たる勤務先での職位について、最も当てはまるものをひとつ選んでください。
(お答えは1つ)

1. 経営者クラス (院長、理事 等)
2. 管理職クラス (部長・科長、教授・准教授 等)
3. 専任講師・助教
4. 医員、専攻医・専修医
5. 大学院生
6. 初期研修医
7. 上記以外 (具体的に：)

Q 1 5 主たる勤務先以外の兼業・副業をしていますか。(お答えは1つ)

1. 兼業・副業をしている
2. 兼業・副業はしていない

(Q15で「1」を回答した場合)

Q 1 5 S Q a 1 兼業・副業を含めた、平均的な1週間の総労働時間について、以下の選択肢のうち最も当てはまるものをひとつ選んでください。(お答えは1つ)

1. 週 40 時間未満
2. 週 40 時間以上 60 時間未満
3. 週 60 時間以上 80 時間未満
4. 週 80 時間以上 100 時間未満
5. 週 100 時間以上
6. わからない・把握していない

(Q15で「1」を回答した場合)

Q15SQa2 兼業・副業を含めた、平均的な1週間の時間外労働時間について、以下の選択肢のうち最も当てはまるものをひとつ選んでください。(お答えは1つ)

*「時間外労働時間」とは、1日8時間を超える実労働時間(除く、休憩時間)および休日出勤での労働時間を指します。但し、宿日直での労働時間の適用除外は、時間外労働に含みません。

1. なし
 2. 10時間未満
 3. 10時間以上 20時間未満
 4. 20時間以上 30時間未満
 5. 30時間以上
 6. わからない・把握していない
-

(Q15で「2」を回答した場合)

Q15SQb1 主たる勤務先における、平均的な1週間の労働時間について、以下の選択肢のうち最も当てはまるものをひとつ選んでください。(お答えは1つ)

1. 週40時間未満
2. 週40時間以上 60時間未満
3. 週60時間以上 80時間未満
4. 週80時間以上 100時間未満
5. 週100時間以上
6. わからない・把握していない

(Q15で「2」を回答した場合)

Q15SQb2 主たる勤務先における、平均的な1週間の時間外労働時間について、以下の選択肢のうち最も当てはまるものをひとつ選んでください。(お答えは1つ)

*「時間外労働時間」とは、1日8時間を超える実労働時間(除く、休憩時間)および休日出勤での労働時間を指します。但し、宿日直での労働時間の適用除外は、時間外労働に含みません。

1. なし
2. 10時間未満
3. 10時間以上 20時間未満
4. 20時間以上 30時間未満
5. 30時間以上
6. わからない・把握していない

Q16 主たる勤務先における下記の労働条件や職場環境に関わるご自身の満足度について、教えてください。(お答えはそれぞれ1つ)

- ① 労働時間
- ② 休日・休暇の取得のしやすさ
- ③ 人事評価の公正さ
- ④ 医師間の円滑なコミュニケーション
- ⑤ 自己研鑽(専門医取得・学会参加・研修・留学等)のサポート制度
- ⑥ 育児サポート制度
- ⑦ 労働者自身の病気に対するサポート制度

(1. とても不満、2. やや不満、3. どちらでもない、4. やや満足、5. とても満足、0. 回答しない)

Q17-1 今後の「医師全般の働き方や職場環境」を考えるうえで改善が必要と思われる項目について、教えてください。（お答えはそれぞれ1つ）

- ① 労働時間
- ② 休日・休暇の取得のしやすさ
- ③ 人事評価の公正さ
- ④ 医師間の円滑なコミュニケーション
- ⑤ 自己研鑽（専門医取得・学会参加・研修・留学等）のサポート制度
- ⑥ 育児サポート制度
- ⑦ 労働者自身の病気に対するサポート制度

(1. まったく必要でない、2. あまり必要でない、3. どちらでもない、4. やや必要、5. とても必要)

Q17-2 上記以外で、医師全般の働き方や職場環境に関わるご意見をもしお持ちであれば、ご入力ください。（自由回答）

4. 臨床を離れた経験について

Q18 これまでライフイベント（出産や育児、介護、留学、病気等）によって、臨床から離れた経験がありますか。（お答えは1つ）

- 1. 経験あり
- 2. 経験なし

(Q18で「1」を回答した場合)

Q18SQ1 臨床を離れた期間について教えてください。(お答えは1つ)

(複数回臨床を離れた経験者は、その期間を合計してお答えください。)

1. 半年未満
2. 半年以上 1年未満
3. 1年以上 3年未満
4. 3年以上 5年未満
5. 5年以上 10年未満
6. 10年以上

(Q18で「1」を回答した場合)

Q18SQ2 臨床を離れたときの年齢を教えてください。

- 1回目 歳
- 2回目 歳
- 3回目 歳

(Q18で「1」を回答した場合)

Q18SQ3 直近の臨床に復帰した経緯について、教えてください。(お答えは1つ)

1. 臨床から離れる前の職場に復帰した
2. 所属学会を通じて復帰した
3. 職業紹介所(ハローワークや民間の職業紹介事業者等)を利用し復帰した
4. 知人の紹介で復帰した
5. その他(具体的に: _____)

(Q18で「1」を回答した場合)

Q18SQ4 臨床に復帰するにあたってトレーニングを受講しましたか。(お答えは1つ)

(複数回臨床を離れた経験者は、直近の経験についてお答えください。)

1. 出身大学の関連医療施設で、受講した
2. 上記以外の医療施設で、受講した
3. 受講していない

(Q18SQ4で「2」または「3」を回答した場合)

Q18SQ5 仮にトレーニング場所として医育機関(大学病院等)を選択できたのであれば、医育機関での受講を希望しましたか。(お答えは1つ)

1. 希望した
2. 希望していない
3. わからない

Q19 医師が臨床を離れた経験を補ううえで、あったらよいと思う行政や医師会からのサポートがあれば、ご入力ください。(自由回答)

Q20 分析結果や報告書の公表その他のアンケートのご協力依頼等についての情報をお知らせしますので、よろしければお名前とご自身のメールアドレスをご入力ください。(任意)

お名前

メールアドレス

大変お忙しいところ調査にご協力賜り、誠にありがとうございました。調査結果は、より望ましい医療政策の実現に向けた政策提言、医師の就労継続支援、サポート体制並びに女性医師支援センターの新たな事業展開についての検討に活用させていただきます。